

ちとせ 市議会だより

No.170



「たそがれ牛舎」(穂積 佳 さんく東千歳中2年)作
第72回全国学校秀作美術展「文部科学大臣賞」受賞

この牛舎は、壊される寸前だった牛舎を描きました。
この牛舎で仕事をした人は、多くの時間をここで過ごし、たくさんの思い出があったと思います。
牛舎の役割の終わりと1日の時間の終わりのイメージを重ねて、この絵を描きました。〈作者のコメント〉

平成27年 第4回(12月) 定例会

目次

- 定例会のあらまし、議決結果等 2～3ページ
- 各委員会の活動状況 4ページ
- 一般質問 5～11ページ
- 各常任委員会の行政視察報告 12～15ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 16ページ

定

例会のあらまし

●平成27年度補正予算等を可決

平成27年第4回定例会は、12月1日から12月14日までの14日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成27年度一般会計補正予算、条例の制定など、報告5件、議案12件、諮問7件が提出されました。

このうち、一般会計補正予算（第4回）については、14人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、審査を付託しました。

その結果、継続審査となった2件を除き、平成27年第3回定例会継続審査議案1件を含む議案等を原案のとおり可決、同意し、諮問については可と決定しました。

今定例会の主な議案等の内容は、次のとおりです。

補正予算

◆一般会計補正予算(第4回)

歳入歳出予算の総額に
1億4千886万3千円を追加

主な事業費

- ・農民研修センター改修事業費 644万8千円
- ・消防車両・消火栓等維持管理業務経費 399万6千円

- ・小学校非構造部材耐震化事業費 9千396万5千円
- ・中学校非構造部材耐震化事業費 3千22万円

◆一般会計補正予算(第5回)

歳入歳出予算の総額に
5千10万2千円を追加

主な事業費

- ・住民登録業務経費 339万1千円
- ・牧場(機械等)整備事業費 615万6千円
- ・防犯灯LED化促進事業費 1千155万5千円

条例

◆千歳市個人番号の利用に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定に伴い、個人番号を利用する範囲を定めるために制定。

◆千歳市行政手続条例等の一部を改正する条例

行政不服審査法等の全部改正等に伴い、引用条文に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市情報公開条例及び千歳市個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政不服審査法等の全部改正等に伴い、審理員の指名等に関し適用除外を定め、並びに救済手続及び引用条文について所要の改正を行うために制定。

◆千歳市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

厚生年金保険法等の一部改正に伴い、傷病補償年金、障害補償年金、遺族補償年

金及び休業補償に係る年金の種類に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例

行政不服審査法の全部改正に伴い、審理員が行う提出書類等の写し等の交付及び附属機関が行う主張書面等の写し等の交付に係る手数料を定め、併せて手数料の減免に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例

千歳市北桜コミュニティセンター内の施設の種別の一部を改めるために制定。

◆千歳市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

個人番号の利用に関し生活に困窮する外国人に対する生活保護の措置等に関する事務及び情報を定めるために制定。



その他

◆指定管理者の指定について

次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市立千歳公民館

【管理期間】

平成28年4月1日から
平成33年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市本町3丁目11番地
(公社) 千歳市シルバー人材セ

ンター 理事長 本宮 輝久

人事

◆次の件に同意

◎固定資産評価審査委員会

委員に

澤田 直記さん(新任)

◆次の件を可と決定

◎人権擁護委員候補者に

高田 幸子さん(再任)

守田 勝榮さん(再任)

三原 修さん(新任)

村井 政孝さん(再任)

羽根 健司さん(新任)

中島 巖さん(再任)

斉藤 和子さん(再任)

意見書

第4回定例会において、
議員提案された意見案3件

を原案可決しました。
意見書は、内閣総理大臣ほか関係大臣などに送付し、実現されるよう要望しました。

◆「新たな高校教育に関する指針」の見直しと、地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

◆義務教育費国庫負担制度の堅持並びに負担率2分の

1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障の充実など、教育予算確保・拡充を求める意見書

◆ブラッドパッチ療法の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書

第4回定例会議決結果概要

事件番号	件名	委員会	議決結果
(平成27年第3回定例会) 議案第5号	千歳市個人番号の利用に関する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第1号	平成27年度千歳市一般会計補正予算について(第4回)	補正予算特別	原案可決
議案第2号	千歳市行政手続条例等の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第3号	千歳市行政不服審査会条例の制定について	総務文教	継続審査
議案第4号	千歳市情報公開条例及び千歳市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第5号	千歳市職員の退職管理に関する条例の制定について	総務文教	継続審査
議案第6号	千歳市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第7号	千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第8号	千歳市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	-	原案可決
議案第9号	指定管理者の指定について	総務文教	原案可決
議案第10号	平成27年度千歳市一般会計補正予算について(第5回)	-	原案可決
議案第11号	千歳市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	原案可決
議案第12号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	-	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
諮問第7号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
意見案第1号	「新たな高校教育に関する指針」の見直しと、地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書	-	原案可決
意見案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持並びに負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障の充実など、教育予算確保・拡充を求める意見書	-	原案可決
意見案第3号	ブラッドパッチ療法の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書	-	原案可決

各委員会の活動状況

11月から12月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。



総務文教 常任委員会

▼11月9日(月) 13時
指定管理者候補者選定結果の所管事務調査1件を報告済みとした。

- ▼11月25日(水) 13時
平成27年度千歳市一般会計補正予算(第4回)など、第4回定例会提出予定議案を含む12件の所管事務調査を報告済みとした。
また、平成27年第3回定例会に付託された千歳市個人番号の利用に関する条例の制定を原案可決とした。
- ▼12月2日(水) 13時
第4回定例会付託議案7件のうち、千歳市行政手続条例等の一部を改正する条例の制定など5件を原案可決とし、千歳市行政不服審査会条例の制定を含む2件を継続審査とした。
- ▼12月10日(木) 本会議終了後
第4回定例会最終日提出予定議案の平成27年度千歳市一般会計補正予算(第5回)を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。
- ▼12月22日(火) 13時
(仮称)千歳市人口ビジョン及び総合戦略(素案)を含む2件の所管事務調査を報告済みとし、行政視察報告について協議した。



厚生環境 常任委員会

- ▼11月6日(金) 10時30分
市内企業等による「千歳市子育て支援連携事業」を含む4件の所管事務調査を報告済みとした。
- ▼11月19日(木) 13時
道央廃棄物処理組合における焼却施設建設候補地選定の所管事務調査を報告済みとした。
- ▼11月26日(木) 10時30分
平成27年度千歳市一般会計補正予算(第4回)など、第4回定例会提出予定議案を含む9件の所管事務調査を報告済みとした。
- ▼12月2日(水) 13時
第2次千歳市健康づくり計画(素案)を含む5件の所管事務調査を報告済みとし、行政視察報告について協議した。
- ▼12月10日(木) 本会議終了後
第4回定例会最終日提出



産業建設 常任委員会

予定議案の平成27年度千歳市一般会計補正予算(第5回)を含む3件の所管事務調査を報告済みとした。

- ▼11月6日(金) 13時
千歳市発注工事における旭化成建材株式会社が関与した杭打ち工事の状況(建設部関連)を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。
- ▼11月25日(水) 13時
平成27年度千歳市一般会計補正予算(第4回)など、第4回定例会提出予定議案を含む7件の所管事務調査を報告済みとした。



議会運営 委員会

- ▼12月10日(木) 本会議終了後
第4回定例会最終日提出予定議案の平成27年度千歳市一般会計補正予算(第5回)を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。
- ▼11月30日(月) 13時
第4回定例会の議事運営を決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。
- ▼12月8日(火) 11時
12月8日(第4回定例会2日目)の議事運営を決定し、議会改革および意見書の提出について協議した。
- ▼12月10日(木) 11時
意見書の提出について協議した。
- ▼12月11日(金) 本会議終了後
12月14日(第4回定例会最終日)の議事運営を決定した。

市政に

ついでにの質問

今定例会は、12月8日(火)から11日(金)までの4日間にわたり、一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。

質問議員の会派等、および氏名は、次のとおりです。(質問順)

☆無所属

細見 正美 議員

☆自民党議員会

五十嵐 桂一 議員

大山 益巳 議員

山崎 昌則 議員

末村 友幸 議員

松倉 美加 議員

☆公明党議員団

宮原 伸哉 議員

田口 博 議員

☆ちとせの未来を創る会

松隈 早織 議員

渡辺 和雄 議員



無所属

細見 正美 議員

交通渋滞対策

問 本町交番前および真町泉沢大通と道道インター線の交差点は、交通渋滞が常態化しており、渋滞要因は、国道36号道路拡幅の未整備、格安航空会社の新規就航と増便、外国航空路線の新規開設による空港で発生する交通量の増大等である。

2カ所の交差点に集中する交通量を分散化する施策が必要と考えるが、抜本策は、泉沢新千歳空港線を支

笏湖公園線へ接続することであり、当面の対策は、本町交番前交差点のスクランブル化と考えるが所見を伺う。

答 市長 道道泉沢新千歳空港線の延伸整備については、これまで北海道に対して早期の事業実施を要請しているが、新千歳空港インターチェンジの開通や平和地区の新たな工業団地の整備により、延伸の必要性が一層高まったと認識しており、引き続き、石狩地方開発促進期成会と連携し北海道に要望していきたい。

スクランブル交差点化については、歩行者の円滑な流れの確保と安全対策に有効であると認識するが、車両の待ち時間の課題もあり、

今後、必要性や妥当性について研究していきたい。



放置車両撤去条例の制定

問 道路交通法の改正により、道路管理者は災害時に限らず、路上駐車車両の撤去が可能となった。

市民の共有財産である公有地を、昼夜を問わず特定車両が常習的に駐車場代わ

りに利用している実態がある。

車道・歩道・駐車場等の公有地を自己の駐車場として代用することは、冬期間の除雪の障害や、歩行者・自転車通行の妨害となり、善良な市民の安全な生活権を侵害するほか、特定個人の利益に寄与することから、放置車両撤去条例の制定が望まれるが所見を伺う。

答 市長 路上駐車車両の取り締まりは、道路交通法および自動車の保管場所の確保等に関する法律において、道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図るために、必要な限度において、警察が対応することとされている。除雪の支障となることを

理由に、市が即座に車両を移動することは、私的財産権の観点から難しく、現段階では条例化は考えていないが、引き続き関係機関と連携を図り適切に対応していきたい。



その他の質問

- ・ 地方版総合戦略
- ・ 図書館の蔵書紛失対策



自民党議員会
五十嵐 桂一 議員

空港行政

問 深夜早朝時間帯の発着枠拡大の合意に基づき、経済波及効果が公表されたが、北海道経済の発展のために市民の生活環境が犠牲になることは許されない。

30枠の拡大による新千歳空港の短期的な展望、経済波及効果等について、また中長期的な将来展望、市長の考える今後の新千歳空港の将来像について伺う。空港ではさまざまな分野

で人材不足が深刻な問題になりつつあり、安定した労働力の提供こそが大きな行政課題と認識しているが、移住・定住促進プロジェクトは、労働力の安定供給に十分機能しているのか伺う。

答 市長 北海道による航空会社に対する意向調査では、19社から新たな就航の意向が示されており、冬ダイヤで13便、夏ダイヤで13便、さらに今後3年以内では17便となっている。

経済波及効果は、北海道全体で年間261億円、雇用効果は3,915人、このうち千歳市では年間56億4千万円、雇用効果は605人と見込まれる。
深夜・早朝時間帯の発着枠拡大は、今後の新規路線

誘致などに弾みがつくものと大いに期待しており、空港利用者の急増に対応するため、国に対し、国際線受入体制強化などを要望するほか、長期的には第2旅客ターミナル地域を活用した新たな整備基本計画の策定と施設の早期整備を要望している。

新千歳空港が担う役割は、ますます高まるものと認識しており、今後とも新千歳空港が北海道経済を力強く牽引する役割を果たすよう国際拠点空港化を進めていく。

移住・定住促進プロジェクトでは、住環境や企業情報の提供、市ホームページに、雇用や空き家情報、子育て支援情報等を掲載し、

転入者増加の施策を検討している。総人口が12月現在、9万5,874人と過去最高で順調に増加していることから、各種施策の取り組みが相乗的・複合的に効果を発揮していると考ええる。

外国語環境

問 市内中学校2年生のALT授業を実際に見学させていただき、道具としての英語、使える英語を意識した素晴らしい授業だった。

年間に5回程度しかALT授業を受けない生徒もいると聞いており、単純に今のALT授業数そのものを増やせないか伺う。
答 教育長 中学校にはA

LT2人を年間延べ約380日派遣しているが、打ち合わせや授業の準備などにより、授業に参加する時数は1日4時間程度であり、各学校では決められた派遣日数の中で、ALTの活用方法を工夫して授業を実施している。

英語教諭との打ち合わせ時間の確保や人材確保などの課題もあるが、学校からは時数を増やしたいという考えも聞いており、各学校と十分協議していきたい。

※ALT：小・中学校の外国語活動や英語の授業などで、教員を補助する外国語指導助手。



自民党議員会
大山 益巳 議員

子育て支援

問 次のことを伺う。①幼保連携型認定こども園を開設したことによる効果につ

いて。②保育施設の定員数に対する現在の入所状況について。③第6期総合計画の見直しでは、保育所定員数を1,089人とし、民間保育施設を19施設にする目標となっているが、その達成スケジュールについて。

④保育士人材バンクの今年度の登録者と就職の実績について。⑤一時預かり事業について、緊急の場合、利

用日数は月12日以内とされているが、その日数以上預ける必要がある場合の対応について。

答 市長 ①幼保連携型認定こども園は、柔軟に児童を受け入れる施設であり、保護者が仕事を辞めた場合でも、児童は退園しなくてもよいことから、保護者からは、「子どもが今までと同じ園に、続けて通うこと

ができて良かった。」と喜ばれている。また、それぞれの園の特色を生かしながら、幼児教育プログラムの充実を図っており、「子どもが授業の内容について楽しそうに話している。今後も続けてほしい。」などの感想が寄せられている。

②現在、計18カ所の教育・保育施設等が開設されており、11月1日現在、保育定

員1,026人に対し、1,023人が入所している。③保育に係る確保方策として、認可定員を平成29年4月には1,089人に増員し、目標値を達成することとしている。

また、民間の教育・保育施設等について、平成28年4月には、計19施設の目標に達すると見込んでいる。④現在までに16人の登録が

問 J R長都駅の西側地域は38社が立地操業し、多くの従業員が通勤、東側地域は、1万人を超える市民が生活しているほか、J R長都駅は1日当たり約2,200人が利用している。過去に犯罪も数件発生しており、安心・安全な市民生活を確保するために長都駅前交番の設置が必要と考えるが、そこで次の2点について伺う。

長都駅前交番の設置



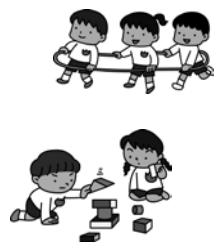
あり、このうち認定こども園への就職が3人、小規模保育所への就職が3人、保育所と幼稚園への就職がそれぞれ1人ずつで計8人の採用につながっている。

⑤入院等で利用日数が月12日を超える見通しとなった場合は、保護者と相談をしながら、認定こども園や保育所への入園等を勧めている。

答 市長 ①これまで、町連や市民団体からの要望を受け、要望活動を継続しているが、平成22年度には、3,303筆の署名と要望書の提出を受け、北海道警察本部へ要望を行っている。千歳警察署では、意見書を添え上申していただいているが、北海道警察本部からは、「全道的に一元的に計画を作っており、交番新設は大変難しい。」との回答である。

②長都駅前交番の設置は、これまで全所的な課題と捉え取り組んでおり、今後も

高齢者支援



問 ショートステイについて、千歳市では5力所の入

所施設があり定員は53名であるが、現在、入所が困難な状況と伺っている。

その原因と今後の対策について伺う。

答 市長 本市では、ショートステイを提供する施設が5力所あり、このうち3力所は通常の受け入れを行っているが、1施設が受け入れを縮小、1施設が休止している状況である。この

「千歳市安全で住みよいまちづくり協議会」を構成する千歳警察署のほか関係団体とも意見交換をしながら、強力に要望活動を進めていきたい。

除雪体制



問 11月24日〜25日に、50センチメートル超えの積雪があったが、24日夜、生活道路に除雪車が来ないといった声をたくさんいただいた

た。25日になり初出勤し、深夜まで除雪が行われた。そこで、次の3点について伺う。①24日の積雪は出勤基準を超えたが、25日になって出勤した理由は。②通学路の除雪体制をどのように捉えているのか。③昨年の苦情から、今年の出勤体制は改善されたのか、その改善内容は。

答 市長 ①11月中は建設現場が稼働しており、作業員の確保や除雪機械の準備に苦慮する時期であり、11月24日は各業者に準備を指示したが、終日、その対応に追われていた状況である。25日には、全社に対し出勤可能な車両すべての出勤を指示し、その時点で取り得る最大の体制で作業を行

ことは、介護保険施設などで勤務する介護職不足の慢性化が大きな原因であり、職員の不足からやむを得ず、受け入れを縮小または休止しているものと伺っている。

市は、介護職不足に対する対策として、事業所を運営する法人に対し、人材確保の要望を行っているほか、市民協働事業として、市と「ちとせの介護医療連携の

会」の共催による就職相談会を開催している。

今後の取り組みとして、3回目の就職相談会の開催を予定しているほか、介護保険施設やショートステイの受け入れ改善を目的とした事業を実施するなど、介護職の確保に向けた取り組みを進めていく。

ったところである。

②通学路の除雪については、重点的にパトロールを行い、交差点の雪山処理に重点を置き、歩行者の安全確保に努めている。

③今年度は、除雪機械を3台増車し、時間を要していた地区のエリアの見直しなどを行ったが、これ以上、車両台数を増やすことは人員や機械の確保が難しい現状であり、今後もきめ細かな道路状況の把握と早めの対応に取り組み、冬の市民生活向上に努めていく。

その他の質問

- ・自衛隊体制強化
- ・基地対策行政



自民党議員会
末村 友幸 議員

防災対策の充実

問 千歳市は、防災施設や充実した防災訓練で、全国的にも防災先進自治体として評価されている。

答 課題は、自助・共助の部分を支える市民レベルの防災意識の向上であり、町内会連合会、消防協力団体、防災ボランティア団体と連携した活動や、市民が身近に感じる避難所を基準とした訓練を充実することにより、防災意識を高めること

が必要と思うが所見を伺う。

市長 出前講座や防災訓練、防災学習交流施設「そなえーる」を活用したイベントなどにより、防災・減災意識の高揚や自主防災組織結成の普及啓発を行っているが、町内会での担い手不足や地域コミュニティの希薄化などにより、防災に対する取り組み状況に違いがあると考えている。

このことから、市民防災講座を開催し、これまで350人を防災リーダーとして認定し、地域の牽引力として活動されているほか、防災リーダーを中心に「千歳市防災マスターリーダー会」が結成されており、今後もマスターリーダー会や市町連、消防協力団体など

と連携を図りながら、機運を高めていきたい。

指定避難所を基準とした防災訓練の実施は、災害時に落ち着いて避難行動をとるために重要であり、今後地域や自主防災組織による自主的な避難訓練の実施を促進するとともに、積極的に支援していきたい。



市街地区の観光振興

問 観光振興の要点は「魅力あるまちづくり」にある。千歳市の魅力を高め、多様

な観光ニーズに対応するために、市街地区の観光資源として歴史・文化的価値のある千歳神社や関連行事をもっと評価し発信すべしと思う。

また、千歳川と周辺公園を「歩き観光コース」に設定し、関連施設や表示の整備が魅力向上に効果的と思うが所見を伺う。

市長 千歳神社は、千歳の歴史に深い関わりを持ち、市民になじみ深い神社であり、9月の例大祭などの行事には、多くの市民が訪れている。全国の神社には観光名所となっているものもあり、千歳神社をはじめ、歴史や文化、伝統を象徴する施設を含め、観光資源の可能性

について調査研究していきたい。

市街地区では、青葉公園など豊かな緑に囲まれた散策路があり、多くの人に親しまれているほか、千歳川では、親水護岸の整備や継続的な桜の植樹など川の魅力を満喫できる環境づくりに努めている。

今後もサーモンパーク千歳やサケのふるさと千歳水族館などを含めたエリアを回遊できるよう取り組むとともに、市街地区におけるエリアの指定や歩きコースの設定についても調査研究していきたい。

その他の質問 ・行政改革

さらに、策定を進めている（仮称）千歳市人口ビジョン及び総合戦略では、特に若い世代が住み続けられる環境整備などを一番の狙いとして、各種施策を進めることとしている。

今後、雇用の充実による転入数の増加と転出数の抑制に向け各種施策を展開し、定住人口の増加に取り組んでいく。



自民党議員会
松倉 美加 議員

（仮称）千歳市人口ビジョン及び総合戦略

問 千歳市は、高校・大学・専門学校・自衛隊・空港・大手企業が存立し、進学や

就職で他方から人が入りやすい特色がある。就職を希望する新卒者の転出を防ぐために、就職先を確保することが重要である。また、若くして自衛官となっても、

残念ながら6年前後で退職する方が毎年150人程度おり、そのほとんどが千歳を離れてしまう。20代、30代の働き盛りの若者が一時的に多く存在している当

市の既存住民に対して、仕事の確保とマッチングを充実させ、住み心地の良さをしっかりとアピールすることが人口増につながるものと考えているが所見を伺う。

市長 千歳市移住・定住促進プロジェクトでは、その取組方針として、転入者の増加については、働く場の確保・雇用機会を創出し、安心して移住すること

ができる環境づくり、また、転出者の減少については、まちの魅力を向上させ、転出者を抑制する施策を検討することとしている。

このうち、雇用の充実に直接関連する施策として、「企業誘致の推進」、「自衛隊体制強化の要望運動」、「創業支援事業」、「新規就農者支援事業」などがあり、現在、その展開を図っている。

シティープロモーション

問 選ばれる自治体とするためには、目的に合わせたターゲットに対する徹底したマーケティング戦略を立てるべきと考える。また、当市では、転入者を軸に各種計画を策定していくとのことであるが、他自治体では、高額な広告費を投じ、

都内へのプロモーションをかけ知名度を上げている。当市では、どの地区の誰に對して、どのような戦略を考えているのか。

また、各分野にわたる施策となり、庁内で横断的に指揮を執り、情熱をもって実行していかなければならないが、誰がリーダーシップを発揮し、どう取り組んでいくのか所見を伺う。

答 市長 当市の総合戦略では、20代から30代の若い世代に狙いを絞り、当市の魅力や移住情報を提供していく。情報発信の戦略として、まず「千歳を知ってもらい」、次に「千歳に来て魅力を感じていただき」、最後に「移住を決めていただくインセンティブの提供」とした3段階のPRをする。「千歳を知ってもらう」では、

雇用、空き家、子育て支援、気候などの情報を提供する。「千歳に来て魅力を感じていただく」では、市民会議で議論していただいている千歳の暮らしの楽しさや魅力づくりに関する施策を、今後、展開戦略に位置づけて推進する。「移住を決めていただくインセンティブの提供」では、「ちよつと暮らし」の実施を検討する。主な対

象者は、3大都市圏在住者や市外から市内への通勤者を考えている。庁内の推進組織として、副市長および各部長で構成する「本部会議」で各種施策における重要業績評価指標の検証や市民の推進組織からのご意見を検討する。この総合戦略は、本市の最大のプロジェクトであり、私が自ら先頭に立って強力に推進する。



公明党議員団
宮原 伸哉 議員

運転免許自主返納

問 運転免許の自主返納率が大きく進展しない要因として考えられるのが、自主返納者に対する支援が行き届いていないことである。

各施設の割引や、タクシー運賃・バス運賃の割引や補助、また、高齢以外の身体的理由で返納に至った方への補聴器や眼鏡等の医療器具の割引などの支援策が有効と考えられる。特に、移動手段に関わる

支援策は、現在新たなプランを策定中でもあるバス利用促進につながる意味においても、検討の余地があると思うが見解を伺う。

答 市長 自主返納支援策については、高齢者の交通事故防止策として、現時点で当市が進めてきた啓発活動等によっても、一定の効果があるものと考えているが、交通事故の防止に係る観点だけではなく、多様な施策との連携・連動により、相乗効果が見込まれる場合には、当該施策の展開も有効であると考えている。

市では、交通戦略プランの策定を現在進めており、当該プランの交通施策として、高齢者の運転免許自主返納サポート制度を位置づ

通信回線の整備

けていることから、警察とも連携しながら、調査研究をしていきたい。

問 東部地域や支笏湖地区における光回線の整備について、過去2回に及ぶ質問と答弁を整理し、以下について伺う。

① I-RU方式については、対象世帯数が少ないという事業者見解があったようだが、補助金投入などによる事業展開の可能性は考えられないものか。

② I-RU方式の推進や無線（高速モバイル通信）整備に係る補助メニューに関して、国や道に対する積極的な要

望や新たに使える補助メニューの調査は行っているのか。

答 市長 ①現在、市としては、通信事業者に対し、補助金を交付して整備することは考えていないが、光ファイバー網の整備に必要な経費の算出や事業展開の可能性について確認を行っている。

総務部長 ②農村部などの情報基盤整備に関わる補助制度については、平成21年の国の経済対策の中でも同じような補助制度があり、事業費の3分の1補助のほかに経済対策としての交付金があったが、更新・ランニング費用も含めた市の財政負担が相当大きいことから、事業化は難しいと判断

した。支笏湖地区および農村地区において、国の観光政策または農村政策として、新たな補助制度に該当するものがあれば、その時点で市の関わりを検討していく。

※I-RU方式：通信回線などの賃貸借契約のひとつで、自治体等が整備した通信回線を電気通信事業者に貸し出し、電気通信事業者が通信サービスを提供する方式。

その他の質問
・ がん教育



公明党議員団
田口 博 議員

水道事業

問 全道一安いといわれている千歳市の水道料金が値上げされることは、大変に残念である。

平成27年度より、石狩東部広域水道企業団の拡張事業として建設した千歳川浄水場からの受水費として毎年新たな財源、約5億8千万円が必要となったことから、千歳市は明年2月に水道料金改定の基本方針で、新しい水道料金を示すとしてい

る。水道料金の値上げについては、極端な市民負担とならないように、段階的な料金の設定による激変緩和策も必要であると考えるが所見を伺う。

答 市長 平成28年2月を目途に料金改定の基本的な方針をお示しするが、改定に当たっては、市民生活や事業活動に与える影響を考慮し、激変緩和を第一に考え、保有資金の活用に加え、一般会計からの繰り入れや段階的な改定などを含めて、改定の時期や改定率などについて検討を行っている。



軽度難聴児の補聴器の助成

問 軽度の障がい者手帳を持たない難聴児を抱える家庭にとつて、補聴器の購入は経済的な負担となっている。

軽度の難聴とは、30デシベル程度の対面での話し言葉の音が聞きづらい状態のことをいう。本市の障がい者手帳を持たない軽度の難聴児の補聴器の必要性についての認識について伺う。

また、本市では軽度の難聴児は何人いるのか、軽度難聴児の把握はどのようにしているのか、行政に対する相談はあるのかを伺う。さらに、補聴器の助成について、市の認識を伺う。

答 市長 難聴児は、言葉の習得期にある乳幼児期から学童期において、補聴器を使用せず聞こえにくい状態にあると、言葉の習得や学習能力、社会性の向上に支障を来す恐れがあると考えられ、早期からの補聴器の装用が望ましいと認識している。

軽度・中等度難聴児で補聴器が必要と思われる児童の把握方法とその対象児童数について、市として具体的な調査は実施していないが、こども通園センターや小・中学校において、相談等があった方は3名程度と把握している。

また、こども通園センターや教育委員会には、発する言葉の不明瞭や聞き取り

ができにくいなどの相談はあるが、補聴器に対する問い合わせはない。

補聴器の助成に対する市の認識について、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児は、本年8月に北海道の「地域づくり総合交付金実施要綱」が改正され、補聴器が助成対象となったことから、市は、来年度の導入に向けた検討を進めている。



その他の質問 ・環境行政

資する意見やアイデアは、その効果や実現性などについて研究する。

次年度に交通量調査や実証試験などを室蘭工業大学へ依頼することを検討している。

今後、研究成果を踏まえ、地域としての意見をとりまとめ、実際にコミュニティ道路として整備するか否か判断していきたい。

コミュニティ道路



ちとせの未来を創る会
松隈 早織 議員

問 スポーツセンターの前から千歳川沿いに支笏湖道路まで続く生活道路をコミ

ュニティ道路として整備する計画があると聞きしたが、コミュニティ道路とは何か。

この道路は、他の地域の住民にとつてもなくてはならないものとなっている。毎日の通勤・生活で利用している方々に、意見や考えを聞かなくてもよいのか。コミュニティ道路について大変期待しているが、今

後の計画の推進方針を伺う。

答 市長 コミュニティ道路は、生活道路等において、歩道を確保するためのポールを設置すること、車道の線形を曲線的に変えること、車道が視覚的に狭く見える対策などを講じることで、自動車の交通量や速度が自然に落ちる対策により、人と自動車が共存する道路として整備するものである。

当該道路については、以前から住環境の改善を望む声が寄せられているほか、抜け道による交通事故が懸念されることから、早急に対策を講じる必要があると考えている。

交通事故の防止や地域住民の安全を優先する観点から、他の地域からの意見は聴取していないが、交通事故の防止や住環境の保全に

学校給食センター

問 新しい学校給食センターの建設によって、給食費が値上がりする可能性はあるのか。

学校給食の安全・安心のために、使用予定食材の産地公表を検討していただきたいと考えるがいかがか。



ちとせの未来を創る会
渡辺 和雄 議員

(仮称)千歳市人口ビジョン及び総合戦略

問 昨年来、市長の決意の言葉もあったが、国では地方人口ビジョン・地方版総合戦略と言っている、「(仮称)千歳市人口ビジョン及び総合戦略」の策定について、先日、若干の新聞報道があった。私たち市民は、「経済の活性化・生活の改善が願い」だが、この総合戦略は、市にたくさんある各種計画とどのようにつながり、どのような位置付けなのか、

立作成委員会の導入を計画されているとお聞きしている。さまざまな献立のアイデアを集めるため、毎日子どもたちと同じ給食を食べている先生方が多く参画できるように考えていただきたいが、委員会構成などの計画について伺う。

答 教育長 学校給食法および同法施行令の規定により、学校給食の実施に必要な

また、端的にどのようなものなのか伺う。

答 市長 今年度策定予定の「(仮称)千歳市人口ビジョン及び総合戦略」は、当市の最上位計画である「第6期総合計画」の展開方針9「心のふれあうコミュニティづくり」の「定住促進と転入者に対する支援」の個別計画として位置付けている。

その内容は、本年3月に策定した「移住・定住促進プロジェクト」を強化発展させ策定することとし、平成32年度の目標人口を9万7千人に設定している。

また、取組方針は、基本戦略と展開戦略の二部構成とし、基本戦略では、「婚姻率・出生率の増加」、「転

な施設および設備に要する経費と学校給食の運営に要する経費のうち、人件費および修繕費については市が負担し、これ以外の経費は保護者の負担となっている。新学校給食センターの整備に当たって、仮にPFIを導入した場合においても、人件費などの管理運営費を給食費に加えることは考えていない。

入数の増加・転出数の抑制」および「交流人口の拡大」を、展開戦略では、まちの魅力づくりとして、市民会議で議論していただいている「人と人のつながりを豊かにする場・取組の創出」として、特に若い世代の人口増加に狙いを絞ったものとなっている。

スポーツ合宿・大会の誘致等の推進

問 「移住・定住促進プロジェクト」の施策のひとつに、交流人口の拡大として、「スポーツ合宿・大会の誘致等の推進」がある。

昨年春に「観光スポーツ部の設置」、また、合宿誘致について商工会議所からの

食材の産地公表は、市のホームページや給食だよりを活用し、翌月の給食で使用する主食の米や小麦、副食の野菜や肉などの産地を毎月公表することとし、来年2月分から公表する予定である。

教育委員会では、学校給食センター長、栄養教諭3名、保護者2名、教員4名で構成する「千歳市学校給

提言もあった。これらについての進捗状況はどのようになっているのか。少々出遅れているように見受けられるが現状を伺う。

答 市長 今年度は、日本オリンピック委員会をはじめ、首都圏の競技団体本部やサイクルスポーツなどのイベントを企画・運営する企業などを訪問し、当市の魅力や特性をPRするなど、積極的な誘致活動を展開している。

また、市内におけるスポーツ合宿の実態や道外のスポーツチームのニーズ調査、先進事例分析等を実施し、当市のスポーツ合宿・大会誘致の基本的な方向性を固め、現在、これを基に、誘致のインセンティブ制度の

食センター献立作成委員会」を設置し、献立内容の確認と献立作成や食材の選定に関する考え方について、幅広い意見交換を行い、献立づくりに生かしていきたい。

※PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法。

充実や、今後の事業展開について検討を行っている。

今後も、引き続き、地域の活性化や交流人口の拡大を目的としたスポーツ合宿・大会誘致の実現に向け、さまざまな角度から積極的に取り組んでいく。



その他の質問
・子育て支援

【市議会インターネット中継・映像配信のご案内】

ご家庭等のパソコンから市議会インターネット中継・映像配信をご覧いただくことができます。

千歳市議会のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。



インターネット中継・配信録画の映像をご覧いただくにあたって

- ◆インターネット中継および映像配信は、スマートフォンや携帯端末等には対応していません。
- ◆お使いのパソコン環境によっては、配信映像が見られない場合がありますので、ご了承願います。
- ◆インターネット中継をご覧になる場合、Windows Media Player（無料）が必要になります。
- ◆Windows10の標準ブラウザ（Edge）をご利用の方は、ブラウザをInternet Explorerに設定を変更していただく必要があります。
- ◆本視聴は無料です。ただし、視聴に対する通信料等は、視聴者の方のご負担となります。
- ◆お手持ちのパソコンに関する操作方法にはお答えできませんので、あらかじめご了承願います。

各常任委員会

行政視察報告

（先進自治体視察）

千歳市議会では、毎年、各常任委員会ごとに先進自治体などへの行政視察を実施しています。

総務文教常任委員会、厚生環境常任委員会、産業建設常任委員会の各常任委員会が、10月および11月にかけて実施した行政視察の概要を掲載します。

なお、行政視察報告書の全文は、市議会ホームページでご覧いただけます。

◆視察日程と視察先◆

常任委員会名	日 程	視察先
総務文教 常任委員会	平成27年11月18日(水) ～ 平成27年11月20日(金)	愛知県刈谷市 愛知県西尾市 岐阜県大垣市 滋賀県彦根市
厚生環境 常任委員会	平成27年10月27日(火) ～ 平成27年10月29日(木)	埼玉県日高市 群馬県高崎市 東京都台東区 東京都大田区
産業建設 常任委員会	平成27年10月27日(火) ～ 平成27年10月30日(金)	滋賀県長浜市 石川県七尾市 石川県金沢市

総務文教
常任委員会

◆庁舎建設事業について

11月18日(水)

(愛知県 刈谷市)

【目的】

教育委員会庁舎の老朽化や本庁舎の耐震化等に対応するため、建設が急がれる第2庁舎について、事業費確保の方法や市民から求められる庁舎機能を調査するため、平成22年に新庁舎を建設した刈谷市を調査。

【要旨】

昭和29年建設の刈谷市旧庁舎は、行政需要の増大に伴う庁舎の狭あい化が進み、災害対策拠点の必要性も相まって、新庁舎建設の必要性を判断した。

事業費確保のため、平成8年に基金を創設し、58億円を確保している。事業費は、基本設計の段階で約101億円であったが、構造等の変更により、約90億円に抑え、11億円の削減を図っている。

新庁舎の特徴は、防災拠点としての機能充実、託児室整備による子育て世代への配慮、市民や職員が自由

に利用できる空間の設置などで、この整備が庁舎建設に対する市民理解につながったとのことである。

免震構造や託児室の導入は、第2庁舎建設の参考になるとともに、財政規模は違うが、施設整備後の将来に向けた基金創設や老朽化対策は、全ての公共施設整備に必要な視点であると考えている。



【庁舎内に整備された託児室】

◆公共施設再配置の取り組みについて

11月19日(木)

(愛知県 西尾市)

【目的】

当市では、今後の公共施設の在り方を定める計画の策定に着手しており、公共施設のマネジメント方針を定めた西尾市の先進事例を調査。

【要旨】

「西尾市公共施設再配置基本計画」は、最少コストで

最大効果を発揮するための総合的管理手法である。地元企業の育成と支え合いにより、地域に根差す取り組みを進める西尾市方式は、

全国で取り組まれている公共施設管理計画を進化させており、大きく評価できる。また、将来を見越した財政健全化は、目を見張るものがある。

当市も多くの公共施設を保有するが、次世代に負の遺産を残さぬため、西尾市を参考に新しい公共空間の創造を推進したい。

◆給食センター整備事業について

11月19日(木)

(岐阜県 大垣市)

【目的】

当市では、給食センターの新築移転を予定しているが、民間資金を活用した手法(PFI)を導入して給食センターを建設した大垣市を調査。

【要旨】

昭和41年建設の大垣市南部学校給食センターは、施設の老朽化や狭あい化が進み、最新の衛生管理の対応が困難となったため、PFI方式を導入して、平成22年に新築した。設計、建設、

維持管理および配送をPFI方式で民間が担い、調理業務は市直営とした。

安全・安心な給食を提供するため、放射能測定機器を導入し、毎日、食材を抽出して測定し、食材の産地とともに市ホームページで公表している。また、食育を目的に、生徒の希望に応じた給食提供などを実施している。

当市の新給食センター建設に際して、放射能測定機器の導入や、PFI方式導入の可否を判断するため、積極的に経費を試算すべきと考える。また、最新設備の導入により、「全く違った給食」の提供が可能と伺い、大いに期待したい。

◆小中一貫教育について

11月20日(金)

(滋賀県 彦根市)

【目的】

小中一貫教育は、義務教育9年間を見据えた教科指導として、小・中学校連携を図る方策の一つであり、先進的な取り組みを実践する彦根市の導入経緯や取り組みを調査。

【要旨】

彦根市は、児童数減少の対応のため、平成27年に小

中一貫型教育校「彦根市立鳥居本学園」を開校した。9年間の継続指導の利点を生かし、英語に特化して中学専任教員が小学校で教えるほか、地元企業と連携して、インターネットで海外交流を行う予定である。

視察当日は、隣接する養護学校の児童との交流授業を参観した。小学校教諭が「生徒とともに勉強しよう」という姿勢に共感を覚え、文法や発音重視の中学校英語指導について考えさせられた。

中高一貫教育の実績はあるものの、小中一貫教育は難しいと考えていたが、中1ギャップの解消や児童生徒数減少の対応など、一定の成果を挙げており、義務教育の将来像として注視したい。



【小学校6年生の授業風景】

厚生環境 常任委員会

◆ごみ資源化処理について

10月27日(火)
(埼玉県 日高市)

【目的】

先進のごみ資源化処理の視察と「太平洋セメント埼玉工場」の現地視察。

【要旨】

自治体独自の焼却場が不要となり、また、焼却灰をセメントに混ぜて再利用することから、最終処分場への埋め立て処分量が激減し、最終処分場の相当な期間の延命を図っている。

資源化物は、1,450度以上の高温で焼成されるため、ダイオキシンは発生せず、悪臭もない。現在では、一般家庭から排出される可燃ごみ年間1万2千トンと事業系可燃ごみ4千トンを合わせて、1万6千トンを資源化しており、市民生活を支えるとともに、市民からも高い評価を得ている。

金属類以外のほとんどのごみを焼却処理できてしまうのは、すばらしい技術である。その上、焼却残渣を全てセメント材料にできる

ことから、自治体としては画期的な処理方法であり、現代社会における最先端の処理システムであった。

「ごみ資源化処理」は全国で、唯一、日高市だけの取り組みである。ただ、市民生活でごみの分別が軽減される反面、課題としては、分別が楽になり、市民のごみ減量に対する意識が希薄になりやすいため、ごみ減量に関する啓発を絶えず行っていく必要があるとされていた。



【ごみ資源化施設の現地視察】

◆高齢者等あんしん見守りシステムについて

10月28日(水)
(群馬県 高崎市)

【目的】

高齢化社会における高齢者の安否確認と見守りの先進施策の視察と「見守り受信センター」の現地視察。

【要旨】

現在、一般的には、家族、町内会、地域での「声かけ・見守り活動」が主流であるが、声かけ・見守りには限界がある。

高崎市では、現在のIT通信技術を駆使し、安否確認や健康状態などを把握することができ、「高齢者等あんしん見守りシステム」を確立。平成26年1月より、365日、24時間対応が可能な「見守り受信センター」を開設し、高齢者等の多面的なサポート事業を行っている。

また、認知症の高齢者が徘徊行動することは、時に悲劇的な事故につながりかねない。現実的に、家族が認知症の高齢者に常に寄り添って行動することは不可能である。

そこで、「はいかい高齢者救援システム」を「高齢者等あんしん見守りシステム」における機能強化として、平成27年10月から導入した。GPSをフルに活用したシステムは、これらの点を解決する上で非常に有効な手段である。

高崎市では、行政と民間企業、地域のボランティアが綿密な連携を取ることで、より、高度な見守りシステムを構築している。

◆児童発達支援・障がい児通学支援・放課後等デイサービスについて

10月29日(木)
(東京都 台東区)

【目的】

東京都台東区の障がい児童における先進の支援施策の視察と「松が谷福祉会館」の現地視察。

【要旨】

東京都内で療育指導を早くから取り入れている。集団指導を保育士が、個別指導を専門職が担当する事業所が多いが、子ども療育室で、より子どもにあった指導をということを目的にグループの中に専門職を配置し、保育士も個別指導を担当する。そのため、週1回は担当者間でビデオを見ながら、多角的に意見を出し合い療育を進めている。また、施設は、保護者同士の情報交換やコミュニケーションの場所としても機能している。

事業内容は多岐にわたり、こども療育、放課後等デイサービス、成人障がい者デイサービス、社会参加援助、就労支援等と、運営には大変さが感じられたものの、内容はとても充実している。

◆空港内保育施設について (羽田空港内「アンジュー保育園」)

10月29日(木)
(東京都 大田区)

【目的】

年間利用客数が増え続けている羽田空港において、先進の保育施設である「アンジュー保育園」の現地視察。

【要旨】

空港ビルの協力、大田区の協力により運営されている。また、2割前後が空港以外で就業する保護者が利用している。

株式会社東京都の認証保育所として運営され、0歳から就学前までの幼児、児童の保育を実施、定員は120名で一時保育も実施している。

保育園は、空港内でありながら広いスペースを有しており、遊具・設備も充実し、空港内外で働く方々にとっては、極めて良い保育サービスとなっている。



【飛行機が見える保育園の遊具で遊ぶ子どもたち】

産業建設 常任委員会

◆黒壁スクエアにおけるまちづくりについて
10月27日（火）
（滋賀県 長浜市）

【目的】

伝統文化を利用した中心市街地の再生と活性化について調査。

【要旨】

長浜市では、市民が育んできた伝統文化を生かしたまちづくりを進める基本構想が策定され、市や商工会議所、商店街が連携し、まちかど整備、空き店舗対策、駐車場整備など、ハードとソフト両面における主要事業を展開している。

商店街に所在する黒壁銀行の愛称で親しまれた建物の保存問題を契機に、民間と市が出資して第三セクターの株式会社黒壁を設立し、文化芸術性や国際性などのコンセプトを満たし、地域産業を圧迫しない事業としてガラス工芸を展開しており、平成23年度までに80軒の空き家・空き店舗の活用実績を残している。

中心市街地の活性化およ

び商店街再生の大きな力からは、地域関係者の熱意と自主性であり、さらに行政を含めた関係機関との連携が重要であると感じた。



【黒壁スクエアの街並み】

◆スポーツ合宿誘致について
10月28日（水）
（石川県 七尾市）

【目的】

温泉街活性化を目的としたスポーツ合宿誘致事業について調査。

【要旨】

七尾市では、景気低迷で宿泊客が減少する中、平成12年に和倉温泉の旅館が高校サッカー部の合宿を受け入れたことに端を発し、平成19年度に「七尾市合宿等誘致事業費補助金」を創設し、市内での宿泊を条件に補助金を交付している。

合宿の誘致は、七尾市産業部観光交流課が担当し、主に三大都市圏の大学やエージェンツ、スポーツ連盟

等に働き掛けている。和倉温泉運動公園等のスポーツ施設は、指定管理者制度を導入し、指定管理料なしで契約をしている。助成対象宿泊者数は、事業開始当初の11倍の2万人を超えるまでになっている。

合宿誘致成功の秘訣は、

トレーニング施設等の充実だけではなく、宿泊施設があっせんや細かい要望等にも応えるマネジメント力を併せ持つことであり、経験豊かな担当者の存在や団体等とのコネクションも重要である。

◆まちの賑わい創出の取り組みについて
10月29日（木）
（石川県 金沢市）

【目的】

金沢21世紀美術館の設立を通じた、まちの賑わい創出の取り組みを調査。

【要旨】

金沢市では、歴史や伝統尊重のまちづくりを進める一方、新しい文化の創造と新たなまちの賑わい創出を目的に、現代美術館の建設を決定した。

自主事業として、展覧会や教育普及事業・芸術交流事業を行うとともに、市民

等にギャラリーを有償で貸し出し、芸術発表の場を提供している。また、周辺商店街と提携し、店舗利用者や美術館来訪者が相互に割引サービスを受けられる「アートdeまちあるき事業」を実施するなど、まちおこしの一環を担っている。

美術館運営の窓口は企画部署、商店街との連携は経済部署が所管し、行政内部の横断的連携により、柔軟な対応を可能にしている。

当市では、サケのふるさと千歳水族館がリニューアルオープンしており、施設運営を長い目で見た場合、参考にすべき点が多いと言える。

◆民間事業者が行うまちの賑わいづくりの取り組み・課題について
10月30日（金）
（石川県 金沢市）

【目的】

株式会社金沢商業活性化センターの事業について調査。

【要旨】

まちづくり三法の制定を機に、平成10年に株式会社金沢商業活性化センター（TMO）が設立された。TMOの主な事業は、商

店街の出店数減少の対策として、商業施設を開業し、売上高5億5千万円、来客数12万人という成果を上げている。また、TMOが主体となり、主要箇所を無料運行する「まちバス運行事業」を開始し、その後、路線バスとして有料に移行したが、行政などの助成を必要としない状況にある。さらに、複数の駐車サービスネットワークを統合し、加盟店舗と連携して、利用者の利便性を高めているほか、ショッピングマップを発行し、ウェブサイトとの連携により、お薦めの商店街を紹介するシステムを構築している。

商店街に出店を検討する事業者は、条件に見合った候補地選定や補助メニューの紹介等、ワンストップサービスによる誘致促進など、当市の参考になるところが多い。



【買い物客で賑わう金沢市の近江町市場】

本会議・各委員会の議員出欠状況

平成27年1月1日から平成27年12月31日までの間に開催された①本会議（定例会・臨時会）、②特別委員会（予算・決算・補正予算特別委員会）、③常任委員会等（総務文教・厚生環境・産業建設常任委員会及び議会運営委員会）の議員出欠状況（回数）を次のとおりお知らせします。

なお、議員出欠状況の詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます。

（議席番号順）

議席番号・議員名	①本会議		②特別委員会		③常任委員会等		議席番号・議員名	①本会議		②特別委員会		③常任委員会等	
	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席		出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
1 今井 俊雄	29	0	17	0	29	0	16 岡部いづみ	28	1	18	1	27	1
2 大山 益巳	21	0	13	0	11	0	17 山崎 昌則	29	0	18	0	38	1
3 末村 友幸	21	0	12	0	11	0	18 佐々木雅宏	29	0	16	2	30	2
4 落野 章一	29	0	20	0	17	0	19 高秀 政博	28	1	19	0	11	0
5 北山 敬太	21	0	12	0	11	0	20 米内山淳二	29	0	18	0	40	2
6 松隈 早織	29	0	20	0	41	0	21 古川 昌俊	29	0	19	0	18	0
7 渡辺 和雄	29	0	15	4	41	1	22 坂野 智	29	0	18	0	16	1
8 山口 康弘	29	0	19	0	29	0	23 佐藤 仁	23	6	17	2	31	9
9 島原 長久	29	0	20	0	18	0	24 細見 正美	29	0	18	0	17	1
10 松倉 美加	29	0	20	0	31	0	25 香月 正	29	0	19	0	18	0
11 五十嵐桂一	28	1	20	0	40	1							
13 宮原 伸哉	29	0	19	0	28	0	辞職 太田 憲之	1	0	0	0	1	0
14 神田 聖子	29	0	20	0	17	1	辞職 小林 俊晴	1	0	0	0	2	0
15 田口 博	29	0	18	0	29	1	辞職 田中 哲	22	1	18	0	11	1

（注1）②と③の回数については、各議員の特別委員会、常任委員会および議会運営委員会への委員就任状況により異なります。

（注2）高秀政博前議長（平成27年6月3日付議長退任）および香月正議長（平成27年6月3日付議長就任）は、申し合わせにより、議長就任時に総務文教常任委員会委員を辞退しています。

（注3）議席番号12番は、田中哲前議員の議員辞職に伴い欠員。

（注4）太田憲之前議員は平成27年1月20日付で、小林俊晴前議員は平成27年1月31日付で、田中哲前議員は平成27年10月19日付で議員辞職。

（注5）大山益巳議員、末村友幸議員、北山敬太議員は、それぞれ平成27年4月26日付で議員就任。

議会事務局からのお知らせ

★議会の予定

平成28年第1回定例会は、3月1日（火）から開会する予定です。
 正式な日程は、議会運営委員会で決まりましたらホームページやポスターでお知らせします。



★表紙を募集しています！

「市議会だより」（年4回：2・5・8・12月発行）の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。
 千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

（問い合わせ先）
 千歳市議会事務局 総務課 調査係
 TEL 0123-24-0791（直通）

★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。
 希望される方は、次のところまでお問い合わせください。



（問い合わせ先）
 千歳市総合福祉センター2階
 点字図書室 TEL 0123-27-3921

編集後記

編集委員として3年目となりました。この間に表紙のカラー化や本会議・委員会の出欠状況の掲載など新たな取り組みを行い、昨今では、「議会報を見ていますよ」という声もよく耳にするようになりました。

議会の傍聴に來られない市民の皆さんにとって、本紙は議会を知る大切なツールです。議会改革の第一歩は、議会や議員活動をもっと知ってもらうことと考えています。そのためには、各議員の質問項目や質問内容の掲載ページ数を増やし、市民の皆さんに議会での活動を更に知っていただくことが重要です。紙面拡充には、予算確保や他の議員の同意などの課題もありますが、一歩一歩その歩みを進めていきたいです。

議会報編集委員会

委員長 山崎 昌則
 副委員長 渡辺 和雄
 委員 山口 康弘
 大 山 益巳
 松隈 早織
 田口 博

市議会だよりは、再生紙と大豆インキを使用しています。